

いろいろ火の里   
みかわ

# ざかい



**健やかな成長を願う**

押切愛宕神社宮参り

**物価高騰に給食費補助  
環境に配慮した農業を  
クマから命を守る行動を  
デマンドタクシーの町外運行  
三川の課題を探る  
そろばんって楽しい!**

12月定例会	P 2～3
政策提言書を提出	P 4～5
一般質問 読者の窓	P 6～11
行政視察報告	P 12～13
町内会長会・農業団体意見交換	P 14～15
シリーズ⑥「がんばってます」 吉田珠算学園	P 16

**No.172  
12月議会  
2026.  
1.15**



# 物価高騰 給食費 値上げ分を補助

## 12月 定例会



●教育費  
学校給食費支援事業に  
397万5千円増額

### 主な内容と質疑

追加し、58億5336万  
4千円としました。

### 一般会計補正予算

### 補正予算

第6回議会定例会は12月2日から5日までの会期で開会されました。諸般報告3件の後、町長提案12件が上程され原案通り可決されました。なお、請願1件が審査され賛否同数となり、議長裁決で不採択となりました。一般質問は8人の議員が町政全般について質問しました。

#### 問 補助内容と財源は。

教育課長 物価高騰により給食の材料、調味料が高騰していることから、

これまでの給食単価を見直すことに伴い、保護者負担が増えないよう増額分を町が負担するものです。ふるさと基金を繰り入れて充当します。

#### ●社会教育総務費

生涯学習推進員退職のため300万8千円減額

問 人気のあるイベントでは職員不足ですべての希望者の受け入れができていないと聞か、職員補充の考えは。

教育課長 一般の会計年度任用職員を1人登用しました。以前は希望者すべての受け入れを目指していましたが、現在は安全面を考慮して、参加人数を限定して対応しています。

#### ●消防費

常備消防事務委託事業414万円増額

#### 問 増額要因は。

危機管理室長 令和6年度の決算をしたところ、

人件費、物価高騰の影響で不足額が生じたため、基準財政需要額をもとに負担するものです。

#### ●総務費

結婚推進事業112万円増額

問 増額の要因と申請の状況は。

企画調整課長 若い世代の結婚生活を応援するため住居費や引っ越し費用を支援するものです。町外から町内アパートに転入するご夫婦が増えています。

#### ●寄附金

企業版ふるさと納税寄附金として歳入に100万円計上

問 寄附申し込み状況は。活用には企業の希望がかなうようになっているか。

企画調整課長 年度途中ではありますが国への手続きが整い、受け入れ態勢ができました。

企業が寄附をする際は町が作った地域再生計画に掲げる事業に対するものとなります。

#### ●商工費

ふるさと応援寄附金推進事業に477万8千円増額

問 増額要因と返礼品の申し込み状況は。また、返礼品事業者の管理体制は。

産業振興課長 米やパックライスの人氣が高く8割を占めています。

返礼品提供事業者マニユアルを作成して返礼事業者への指導を行い事故発生防止に努めています。



LED化される なの花ホール

「いろり火の里」推進事業1426万7千円減額

問 減額要因は。

企画調整課長 なの花ホールのLEDへの交換工事において、当初の設計は足場を組んでの作業の見込みでしたが、高所作業車での作業が可能となったことから、減額修正するものです。完成後は速やかに利用できるよう対応します。

## 謹賀新年



議長 長 昌弘  
町野 昌弘

新年あけましておめでとう  
ございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた令和8年の春を健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、議会改選が行われ新たな議員が加わり町政・議会運営を行っています。

三川町も人口減少や地域経済の活力維持など、さまざまな問題に直面しており、議員一丸となり三川町の将来を見据え、昨年は四つの提言をいたしました。

町議会は、これからも町民の声に耳を傾け、政策へとつなげる「開かれた議会」をめざし、議会改革や情報発信にこれまで以上に努めてまいります。

本年が、皆さまにとりまして健やかで実り多い年となりますよう心より祈念申し上げます。

## 条例設定

令和8年4月

「いづれでも通園制度」開始に伴う条例の設定

「いづれでも通園制度」

令和8年度から全国の自治体において保育所に通っていない6カ月から2歳児がいるすべての子育て家庭に対して通園できるサービスを提供するもの。こどもの健やかな育ちを支援するとともに、保護者の育児軽減や孤立した育児の解消を図ることを目的とする。



三川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について

町内には三つの園があるが実施がみかわ保育園・幼稚園のみの要因は、子育て支援室長

保育園、三川りっしょう子ども園については現在の体制では受け入れは難しいとの返答でした。

利用定員は3名とされているが要因は、子育て支援室長

町内の対象児は10〜20程度と見込んでいます。広域での利用も可能なため1時間あたりの利用定員を3人としました。

問 昼の時間に受け入れしない要因は、子育て支援室長

1才6カ月未満児は離乳食対応になることが想定されることと、アレルギーへの対応が、現在の体制では難しいと判断し、昼の受け入れはしないこととしました。

## 請願審査

「保険薬局も無料低額診療事業の対象とすること」を求める意見書の提出に関する請願」が提出されました。

所管する産業建設厚生

常任委員会に審査が付託され不採択となりました。

委員会の報告の後、議会で採決したところ賛否

同数となり議長裁決で不採択となりました。

反対議員

志田徳久、小野寺正樹

佐久間千佳、佐竹優子

賛成議員

鈴木淳士、土田市子

砂田 茂、鈴木重行

無料低額診療：経済的な理由によって必要な医療を受ける機会が制限されないように、医療機関が無料または低額な料金で診療を行う制度

## 賛成討論

砂田 茂 議員

院外処方箋をもらった低所得の患者さんが、安心して薬がもらえるようになるよう事業の拡大に賛成します。

鈴木淳士 議員

この事業は社会福祉法への規定レベルではなく、国民健康保険法に規定し、医療機関並びに保険薬局の負担軽減を図りつつ、被保険者の利用を促すべきと考えます。

## 反対討論

佐竹優子 議員

薬局業界は、調剤報酬改定により経営が厳しくなっているため、まずは業界団体との間で丁寧な対話と合意形成が必要であり、協議を進める上で制度設計上の評価と検証が十分に尽くされるべきであるとの立場から反対いたします。

## 町道認定



産業団地拡張にともなう町道の延長

大玉村 視察受け入れ

11月10日

福島県大玉村議会の議会運営委員会・広報編集特別委員会8人が本町を訪れ、議会運営や音声配信、広報の編集について研修されました。





# の政策提言

12月18日総務文教・産業建設厚生の常任委員会が1年間検討した結果を、令和7年度政策提言として町長に提出しました。



## 地域交通体系の拡充について

### 課 題

デマンドタクシーの運行区域が町内に限定されていることと併せて路線バスの運行便数も減少していることなどから、これらの乗継による町外への通院等には苦慮しているとの不満が寄せられている。今後、高齢化による免許返納者の増加が予想されることから、早急な移動手段確保が望まれるところである。

### 提 言

8月4日には庄内市町村議会議長会から「地域公共交通」に関する共同声明が示されたほか、各自治体主宰の「地域公共交通会議」における合意形成により、町直営デマンドタクシーの運行ルートが町外へ拡大することが可能と受け取れる説明を、先般の行政視察先で研修してきたところである。

こうしたことから、町民各位の生活利便性向上のためにも鶴岡市や酒田市内の循環バスなどにアクセスできる運行範囲に改善するよう、町当局の迅速かつ精力的な調整協議の展開を求めるものである。



## 国際交流事業の拡充について

### 課 題

中学生のマクミンビル市との国際交流事業については、コロナ禍による現地訪問事業の自粛により、インターネットによるオンライン交流に変更されたまま今日に至っている。

東北公益文科大学には国際学部が新設されるなど、今後益々国際化に対する知識・経験を求める気運は高まってくるものと考えられる。

### 提 言

これまでのマクミンビル市との交流再開も視野に入れながら、海外派遣の実施など他国との交流窓口の確保に努め、中学生等の国際感覚醸成につながる事業を展開すべきである。

その際、より多くの生徒に参加機会を提供できるよう、渡航経費については公費負担とすべきであり、その財源確保については「ふるさと応援寄附金」の一部を「国際交流基金」へ積立造成し、渡航経費への充当が可能になるよう財政運営の方針を確立すべきである。





# 議会から町長へ4つ

## 環境に配慮した農業の推進について

### 課 題

肥料等の価格高騰は農業者の負担となり、本町においても環境保全型農業の取り組みは伸び悩んでいる。

中干し<sup>※1</sup>延長による「J-クレジット制度<sup>※2</sup>」は、天候による品質低下から減収リスクが懸念され、取り組みが浸透していない。

### 提 言

地域農業を担う次世代に農地を引き継いでいくためにも、資材高騰や機械導入への支援など、経営面の負担軽減を図る施策が必要である。

あわせて、バイオ炭<sup>※3</sup>等の地域資源を有効活用する施策を検討し、「環境保全型農業直接支払金制度」や「J-クレジット制度」等の制度周知・活用支援を進め、環境保全と農業所得確保の両立を後押しすべきである。

新たに消費者や女性・若手農業者の意見を取り入れるための協議の場を設置し、現場課題や新技術、ブランド化戦略の協議を一層推進することで地域全体の農業振興を図るべきである。



※1 中干し

水稲栽培の中期に田んぼの水を一時的に抜き、土を乾かす作業。通常より延長することにより、温室効果ガスとされるメタンの発生量が削減される。

※2 「J-クレジット制度」

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO<sub>2</sub> 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO<sub>2</sub> の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

※3 バイオ炭

木材やもみ殻などのバイオマス（生物資源）を酸素が少ない状態で高温加熱して作られる多孔質の炭。圃場に散布することで保水性・通気性が改善され、微生物の環境が整い植物の生育を助け、炭素を長期間固定（貯留）する効果がある。

## 空き家の利活用・解体に向けて

### 課 題

町内の空き家は増加傾向にあり、そのうち老朽危険空き家も多い。空き家の多くは耐震基準を満たさず、費用負担や相続問題等が課題となり再利用が進まない。

空き家は個別事情が異なるため画一的な対応が難しく、専門知識も必要であり、解体に至るまでには長期間の対応を要する。

### 提 言

解体や処分の相談には、民間事業者・専門家を積極的に活用するなど、職員負担を軽減し、予防から解体・利活用まで切れ目なく対応できる体制の強化をすること。

住民に家財整理や解体への理解を促し、利活用・解体・売却を後押しするための制度を拡充し、その周知を積極的に行うこと。

また、空き家解体と跡地活用を地域活性化・防災・福祉施策と連動させ、町全体の生活基盤強化につなげるべきである。



# 町政を問う 一般質問

## 12月定例会



議会ホームページは  
こちらから  
(音声配信中)

### 一般質問 とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

12月2日、4日、5日に8人の議員が以下の項目について質問しました。  
●の内容を掲載しています。

#### 小野寺 正樹 議員 (7ページ)

- クマ出没時の安全確保を
- 押切バス停留所の待合施設について
- 三川音頭の継承について

#### 佐竹 優子 議員 (7ページ)

- 「田田」を健康づくりの拠点に
- 情報セキュリティ対策について

#### 土田 市子 議員 (8ページ)

- 町図書室の防犯対策を
- 人口の将来展望について
- 公園の多面的活用の推進と整備について

#### 鈴木 淳士 議員 (8ページ)

- 高齢者世帯へのエアコン設置補助を
- 各般にわたる行政運営の適否について
- 町政全般にわたる「論語」の活用を

#### 鈴木 重行 議員 (9ページ)

- 本町農業の持続策は
- 企業版ふるさと納税について
- 災害時におけるトイレ環境の整備を

#### 志田 徳久 議員 (9ページ)

- 川の増水対策は
- 今後の予算編成は
- 福祉政策について

#### 砂田 茂 議員 (10ページ)

- 補聴器購入費への支援を
- 学校給食について
- 無料低額診療事業について

#### 佐久間 千佳 議員 (10ページ)

- 地域計画の実効性向上を
- デジタル化の推進について

(6) 11ページまとめ 砂田 茂





おの であ まさ き  
小野寺 正樹 議員

# クマ出没時の安全確保策を

町長 クマから命を守る行動を

**問** クマの目撃情報が  
多く防災行政無線  
等で周知されているが、  
クマ出没時の安全確保策  
は。

**町長** クマの出没の際は、  
町で策定した「ク  
マ等出没対応マニユア  
ル」に従い対応すること  
とし、担当課でクマの目  
撃情報を受けた場合には、  
速やかに職員間で情報共  
有を図り、状況に応じて  
町民に対して防災行政無  
線やLINE等で注意  
喚起しています。

また、学校、保育施設、  
学童保育施設等へ情報提  
供するとともに、職員に  
よるパトロールを実施し、  
不測の事態が生じないよ  
うに対応しています。

## 通学時の安全対策を

**問** 各学校現場におけ  
る安全対策は。

**教育長** クマの出没情報が  
確認された場合に  
は保護者への緊急メー  
ルで注意喚起を行い、地域  
全体で児童・生徒が安全



町内に出没したクマ

に登下校できる環境づく  
りを支えていただしてい  
ます。  
出没場所や出没時間によ  
っては、保護者による  
送迎を依頼するなど、状  
況に応じた対応も実施し  
ています。  
学校では、過度な不安  
を抱かせないよう配慮し、  
基本的な心構えを日常の  
生活指導の一環として、  
安全意識を身につけるよ  
うにしています。



さ た け ゆう こ  
佐竹 優子 議員

# 「田田」を健康づくりの拠点に

町長 スポットの事業実施は検討の余地あり



35周年を迎えた田田

町民の健康づくりに貢献する施設運営に期待

**問** 町民の健康づく  
りの拠点として「な  
の花温泉 田田」を活用  
しては。

**町長** 町職員の配置や一  
般利用者との導線、  
会場の大きさ等の課題が  
あり拠点としては困難と  
考えます。

母子保健事業や健康づ  
くり事業のスポット的な  
実施は検討の余地がある  
ものと考えます。

**問** 町内事業者と連携  
し、利用促進と共  
に「健康経営」を後押し  
する利用料減免を導入す  
るべきでは。

**副町長** 健康経営を行って  
いる事業者との連  
携は可能な一つの方法か  
と思いますが、減免し過  
ぎると経営改善に結びつ  
かないところもあります。  
町と振興公社ができるこ  
とをバランスよく調整し  
ていく必要があります。

**問** なの花ホールの空  
きスペースの今後  
の活用は。

**町長** 飲食店を中心に声  
掛けを行ってきま  
したがテナントは決まっ  
ていません。一般に貸出  
も行っている状況です。

**問** 道の駅隣接である  
ためコワーキング  
スペースとして整備して  
は。

**企画調整課長** コワーキングス  
ペースだけの利用  
だと使用料が課題であり、  
イベント貸出等との併用  
利用では予約確認が煩雑  
となります。

テオトルのコワーキン  
グスペースの利用状況を  
確認しながら検討してい  
きたいと思っています。



つちだ いちこ  
土田 市子 議員

## 町図書室の防犯対策を 教育長 呼び出しボタンを設置する

**問** 入口に小窓はありますが、二階でもあるため、死角となっています。図書室の防犯対策は。

**教育長** 現在、図書室には2か所、閲覧室に1か所、防犯カメラを設置して監視体制の整備を図るとともに「防犯カメラ作動中」と掲示し犯罪抑止に繋がっています。

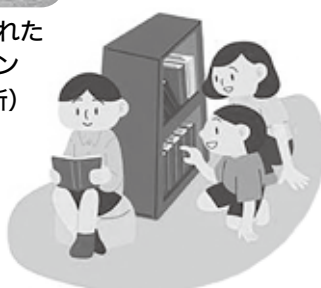
さらに、管理人が一定の間隔で館内を巡回し安全確保に努めています。

**問** 犯罪カメラは事件解決に役立つが、未然に防ぐためのSOSボタンの設置の考えは。

**教育課長** 緊急時、事務室へ知らせ即座に対応できるように呼び出しボタンを設置し、安心して利用できるように対応します。



さっそく設置された  
呼び出しボタン  
(出入口2か所)



レイアウト変更で  
使いやすく

**問** 親も子どもも、のびのびと気兼ねなく、また多くの住民が質の高い利用が出来るよう図書閲覧室の配置換えや、本の整理は出来ないものか。

**教育課長** 古い本や貸し出しなどを整理し、またスペースが広がるようなレイアウトを考え、多くの町民が明るく使いやすい図書室になるよう再配置を考えていきます。

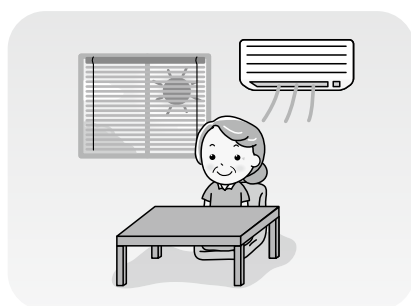
## 高齢者世帯へのエアコン設置補助を 町長 自費で設置済み多く、補助しない方針



すずき じゅんし  
鈴木 淳士 議員

**問** 熱中症による死亡事故が多発した今年の夏を省みて、以前もこの一般質問の場で提案していた「高齢者世帯向けエアコン設置補助金」を来年度予算に計上しては。

**町長** エアコンの設置が非常に有効である点は認識しています。近年は多くの家庭にエアコンが普及していて、高齢者世帯においても自費で設置済みの世帯が多く、公平性の観点から補助金新設は考えていないところです。



高齢者世帯へエアコンを…

対象世帯が減少ならば予算減少で対応可能では…

**問** 以前提案したエアコン設置補助事業に対応していれば、今夏の不安も軽減されたはずですが。

先ほどの答弁にあるように、対象世帯が減少したとすれば、必要な予算額も少額になることからぜひエアコン設置補助事業を実施しては。

**健康福祉課長** 町で支援できる対応策として、町内会公民館を活用した「クーリングシエーター設置」に対する支援を実施していますが、今後も個人のエアコン設置支援に限らず、可能な対応策を検討していくこととしています。





すずき しげゆき  
鈴木 重行 議員

## 本町農業の持続策は

町長 営農継続できる環境を整備する

**問** 本町の農業者の現状と将来像は。

**町長** 農業者の高齢化が進行しており、今後10年程度で離農者が急増し、農業者が大幅に減少することが見込まれています。

アンケートでは対象者の64%が後継者不在とされており、状況は極めて深刻であると認識しています。

**問** 地域農業を持続させるには何が必要と考えるか。

**町長** 本町農業の持続的発展には農業所得の向上や農業者の育成確保と合わせて、作業の効率化・省力化の推進や農業インフラの抜本的見直しが必要と考えます。

**問** 少ない担い手で農地を維持するには、圃場の大区画化やスマート農業の導入が効果的と考えるか。

**町長** 限られた担い手で農地を維持するには、作業の効率化や省力



大区画圃場での効率的な収穫作業

化が必要と考え、圃場の大区画化やスマート農業の導入について、引き続き国や県、土地改良区などと連携して取り組みます。

**問** 今後の中長期的な農業政策の方向性は。

**町長** 地域での話し合いを重ねながら、農業者の考えやニーズを把握し、本町農業が次代につながる産業として継続できるよう中長期的な視点をもって政策に取り組みます。



しだ とくひさ  
志田 徳久 議員

## 川の増水対策は

町長 国・県へ要望

**問** 令和6年7月25日、26日の豪雨で三川町を含め多くの地域が災害に見舞われました。

川の増水もその要因で三川町では藤島川の増水で内水被害が起こりました。

藤島川は京田川と合流、京田川は最上川と合流しています。

京田川と最上川を分離し河口を単独で日本海に流すことで解決すると考えます。

国、県に要望すべきでは。



豪雨により増水した藤島川

**町長** 最上川と京田川の合流部の問題だけでなく、土砂等の堆積による流下能力の低下と異常気象に伴う集中豪雨といった要因がいまって発生しています。

町ではこれまでも定期的な河道掘削工事等を要望してきたほか、山形県より渚地区、土口地区に排水機場が整備されました。

内水被害対策については近隣市町と情報共有しながら最適な解決策を講ずるように、国・県に対して働きかけていきます。



すなだ しげる  
砂田 茂 議員

# 補聴器購入費への支援を

## 町長 今後の検討課題と捉える

**問** 高齢者自ら、聞こえの状態を知るための取り組みは。

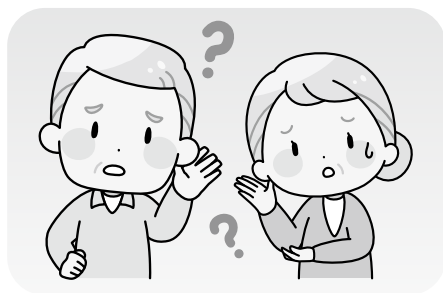
**町長** 研修会や自立体力検定等で、「聞こえのチェック&相談会」を実施しています。

高齢者自ら聞こえの状態を確認してもらうことと併せて、個別相談や補聴器体験等を実施し、聞こえの大切さの啓発にも努めています。

### 有効な支援ツール

**問** 聞こえに対する補聴器の有効性は。

**町長** 補聴器は、加齢により聞こえづらくなった方にとって有効なツールと認識しています。聴力低下を早期に補うことで、日常生活の質が向上するとともに、社会的な交流や認知機能の維持につながり、健康的な生活を送ることができると考えています。



聞こえのチェックを

**問** 全国的な補聴器購入費助成への広がりについての認識と、本町での助成への考えは。

**町長** 全国には補聴器購入への助成制度を創設している自治体があり、県内でも、10を超える市町村で助成制度を創設していることは認識しています。

本町では、身体障害者手帳を交付されている方に支援を行っています。加齢性難聴者に対する補聴器購入への助成制度は、今後の検討課題と捉えています。

# 地域計画の実効性向上を

## 町長 議論の場を設定する



さくま ちよし  
佐久間 千佳 議員

**問** 地域計画の実効性を高めるための取り組みは。

**町長** 各町内会の生産組合長を中心とした会議を開催し、議論しています。

**問** 計画の見直しにあたっての課題は。

**町長** 生産組合長を1、2年で交代することや、専業農家でない方、実質的に農業を行っていない方もいるため、地域の実態を正確に把握できていない場合もあります。

また、農業への意欲に温度差があり、会議が十分に活性化しないことなどが課題です。

**問** 若手・中堅農業者で「地域計画促進協議会（仮称）」を作り、中長期的に議論をしていくべきでは。

**町長** 協議会という形にはとられず、将来の地域農業に意欲のある若手・中堅農業者を主体とした中長期的な議論の場を設置しながら意見



地域の未来を語り合った  
みかわの農業のあり方の意見交換会

集約し、計画の実効性向上に努めていきます。

**問** 担い手への集積面積や平均年齢などの数値目標をMターン戦略に立てるべきでは。

**町長** 現在のMターン戦略でもKPIを設定し評価しています。

来年度から始まる第3期戦略の中でも、農業経営者の割合や、認定農業者や新規就農者の割合などを盛り込むことを検討しています。

※KPI…重要業績評価指標



# 12月議会を傍聴して

## ◎議会の開催を何で知りましたか。

- |              |     |
|--------------|-----|
| ① 町の広報       | 0 人 |
| ② 議会定例会のチラシ  | 2 人 |
| ③ 議員から聞いた    | 1 人 |
| ④ 町の LINE    | 0 人 |
| ⑤ その他（議会だより） | 1 人 |

## ◎三川町のホームページにおいて、議会定例会での「一般質問」の音声配信を行っています。聴いたことはありますか。

- |                  |     |
|------------------|-----|
| ① 聴いたことがある       | 1 人 |
| ② 知っているが聴いたことはない | 3 人 |
| ③ 音声配信を知らなかった    | 0 人 |

## ◎議会広報誌を読んでいますか

- |            |     |
|------------|-----|
| ① 毎号読んでいる  | 4 人 |
| ② 読んだことがある | 0 人 |
| ③ 読んだことがない | 0 人 |

## ◎議会または議員に期待することなどありましたら、お聞かせください。

- ・議員の名前を読めない町民もいる。もっと PR すべきと思う
- ・議員とのフリートークなどから本音を知れたら安心だ
- ・草刈りされていない河川敷などを議員から視察してほしい

## 読者の窓

### ●議会広報誌のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

- 9月発行の“みかわ議会”は中学生の懇談会の記事が大変おもしろかったです。家族で三川町の将来について話し合っているようで大変嬉しく思いました。

### ●議員の質問の意図や議論の内容が伝わる内容の記事になっていましたか。また、分かりづらい記事等ありましたか？

- 時々議会の傍聴に行きますが、どの議員の方も町民の声を出し合い人手不足・資金も少ない中で町民に寄り添えるよう町政をリードしているな～と思います。

### ●より読みやすい、手にとりやすい広報誌にするためにはどのような取り組みが良いかアドバイスを聞かせください。

- 各議員の質問、町の答弁をコンパクトにまとめ分かりやすくなっていると思います。オレンジ色の小さな文字は老人には読みにくいですけど。

### ●今後、議会広報誌に取り上げた方が良くと思われる事項があればお聞かせください。

- 国全体が“弱者切り捨て”の方向に動いているような昨今ですが、全国でも小中学校のいじめが多い、自死が多い県と発表されていますので子供達が楽しい学校生活が送れる様きめこまやかな対応をお願いします。

### ●議会への要望等があればお聞かせください。

- 年代の若い方、女性の方が議員に加わった事でより生活に密着した活動になっている様に思いますので毎回楽しみにしています。



折原洋子さん  
(袖東町)

# 行政視察

## 研修報告

10/8 (水) ~ 10/10 (金)

日程

**1日目** 10/ 8 (水) 下野市

**2日目** 10/ 9 (木) 壬生町・上三川町

**3日目** 10/10 (金) H.C.R. 2025 国際福祉機器展&フォーラム (東京ビッグサイト)

### 栃木県

栃木県南部に位置する隣り合った1市2町を視察しました。  
産業が盛んで、県内で住みやすい街として人気のあるエリアです。  
以下に研修内容を掲載します。

宇都宮市

壬生町

上三川町

栃木市

下野市

小山市

#### 壬生町 (みぶまち)

人口3万7千人、世帯数1万6千  
子育て支援充実、宅地分譲で転入超過

#### 上三川町 (かみのかわまち)

人口3万人、世帯数1万2千  
日産の企業城下町、新たな産業団地分譲

#### 下野市 (しもつけし)

人口5万9千人、世帯数2万6千  
自治医大、JR3駅、住みよさ県内No.1

かみのかわ  
上三川町

似てる!

## 産業振興・農業支援

#### ●中小企業販路拡大の支援

展示会出展にかかる経費を補助。  
ビジネス展開が広がり新規開拓につながった。

#### ●農業振興策

いちご、かんぴょう等の園芸作物も盛んであり、  
施設園芸に対する補助メニューが充実している。  
収入保険加入促進として保険料の一部補填。

#### ●空き店舗等利活用促進

中心市街地活性化のため

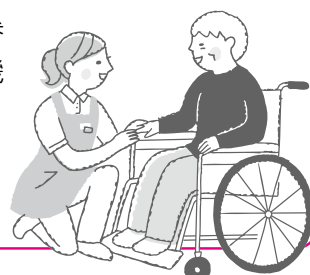
#### ●企業誘致の促進

県の開発公社が主体となり産業団地を造成。  
町独自の産業支援策も充実していると感じた。

### H.C.R. 2025 国際福祉機器展&フォーラム (東京ビッグサイト)

世界の福祉機器を一堂に集めたアジア最大規模の国際展示会を視察しました。  
機器を実際に触って機能性を確かめることができ、スタイリッシュな最先端の電動車いすのランウェイショーなどのイベント等、多くのインプットがありました。

介護・障がいのある方の自立や社会参加について考える機会となりました。





しもつけ  
下野市

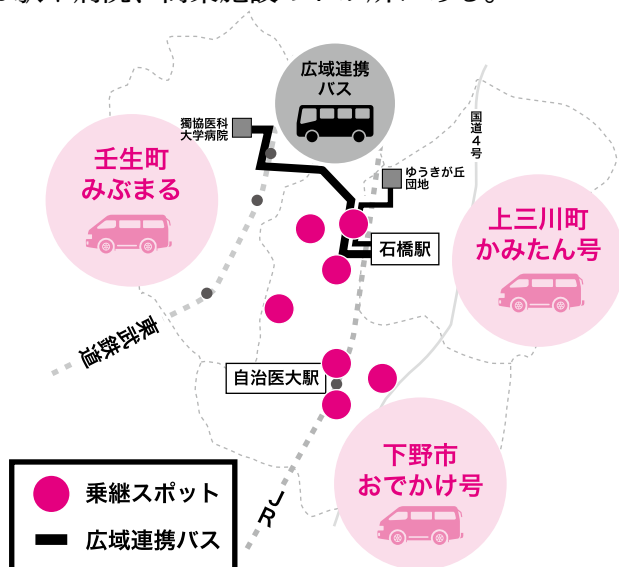
## デマンド交通は1市2町 相互利用

## ●1市2町（下野市・上三川町・壬生町）相互利用できます。

- ・「乗り継ぎスポット」を経由することや、広域連携バス・JRを活用することで他市町の目的地まで行くことができる。「乗り継ぎスポット」は駅や病院、商業施設の7か所にある。
- ・各市町に事前登録が必要であり、利用時はそれぞれに予約をする仕組み。
- ・運行エリア、料金、予約方法等は各市町で定めている。
- ・相互利用は平日の午前8時から午後5時まで。

## ●下野市デマンド交通「おでかけ号」とは

- ・乗り合いで、自宅から目的地まで運行する。
- ・小学生以上は一人でも乗車可能で、塾通いにも利用できる。
- ・1市2町各市町の交通機関を相互利用できることで自治体のわくを越えた移動が可能となり、連携した広域での住みやすい町づくりの取組みを学んだ。

みぶ  
壬生町

## 論語と英語で特色ある教育

## ●ゆうがお English イノベーションスクール事業

- ・ネイティブ English 講師とのオンライン英会話  
一人一台の GIGA 端末を使い、中学生を対象に、外国人講師とズームによるオンラインで英会話を実施し英会話力の向上を図ることを目的としている。
- ・英語検定受験料全額補助  
企業版ふるさと応援寄附金で全額補助している。
- ・壬生町中学生海外派遣事業  
国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的としている。令和7年度は9日間オーストラリアへ、町内3校の2～3年生20名を派遣した。

## ●「まちづくり」に生かされている論語教育

- ・町内すべての小学校で論語素読を行っており、論語検定に挑戦している。
- ・小学生だけでなく、家族にも論語教育が浸透している。
- ・町民参加の論語塾も開かれ、「まちづくり」に生かされている。
- ・全国藩校サミット壬生大会開催。
- ・町民748名による論語暗唱最多人数ギネス世界記録を達成。
- ・職員より小学生による論語作文の一例が紹介され、論語の意味を深く理解することが心の教育に役立っていると感じた。



壬生ギネス記録達成暗唱の様子

# 議会による政策提言



## 町内会長と 議会議員との懇談会

11/5

今回の懇談会は、はじめに議会からの話題提供として、町長に提出する政策提言書（4～5ページ参照）の趣旨説明が行われ、その後に質疑応答が展開されました。

特に、空き家解体後の空き地は分譲販売が有利との意見や、環境保全と農業所得確保の両立に関する提言に対しては、米価上昇に対する厳しい世論もあるとの意見も出されました。

町内会長からの話題提供としては、数年後の児童数減少に関する情報提供を徹底すべきであること。また、離農者の増加に対する行政施策を求める意見も出されました。

更には、税負担の増嵩や社会福祉協議会の会費増額などへの不満と不公平感を抱く町民が増加し、町内会運営を取り巻く環境が厳しさを増しているとの訴えも出されるなど、数多くの課題を話し合う貴重な機会になりました。

町には多くの課題が…



# 農業における女性活躍の視点



## 農政懇談会

11/19

農政懇談会は、三川町農業委員会大川里美会長による講演からはじまりました。

「農業における女性活躍の視点」と題して、初めての米作りから始まり、ビニールハウスによる園芸野菜の栽培へ展開…。

そして、横浜の浦島小学校児童を招いてのグリーンツーリズム継続催行によりその後の貴重な親交につながったことなど、三川町と都市との交

（14ページまとめ 鈴木 淳士）

流の基礎作りに関する貴重な思い出をお聞きすることができました。

〓 米価・収量とも安定 〓

庄内たがわ農協成沢理事からは令和7年産米の集荷状況についての説明があり、つづく山形県農業共済組合黒坂氏からは、収入保険への加入状況や保険支払い状況に関する報告がありました。

また、昨年10月に庄内赤川土地改良区理事長に就任した志田敏朗氏から三川町に係る令和7年度実施事業についての報告がありました。







## 10/21 町有林の現地実査

新潟県村上市（旧山北町）にある町有林は、  
標高 110m ～ 390m に位置し、実測面積は 78.46ha、  
大部分が樹齢 70 年近いスギやアカマツなどの針葉樹林。

基準木 12 本の幹回りを測定  
森林組合、林野庁の方々にご案内いただき、  
役員職員 2 人と共に現地調査を行いました。  
2 年前調査よりも幹回りが平均約 2 cm ほど成  
長していました。

クマには出会わなかったが…。

所々にクマが樹皮を剥いだ跡が見受けられ  
ました。生い茂る草をかき分けながら、倒木  
を避けて進み、急傾斜で滑りやすい山道の歩  
行は、かなりの体力を消耗しました。



議会からは佐竹議員が参加



国との官行造林契約は令和 10 年まで

町が希望する一部の売払いに向けた調査や  
公売等の進め方や、持分譲与等の契約延長の  
方向性についての説明を受けました。  
今後については、木質バイオマス等の新た  
な市場ニーズにも注視し、関係機関との調整  
を図る必要があります。

山形県町村議会議長会

## 令和 7 年度 町村議会議員研修

10 月 27 日 山形国際交流プラザ「大会議室」にて



県内すべての町村議会議員、事務局職員が一堂に会し、  
二つの講演を聴講しました。

### 講演概要①

#### 「災害時の議会・議員の役割」

中央学院大学社会システム研究所教授  
福嶋 浩彦 氏

元我孫子市長のご経験をもとに、議会  
における災害時 BCP は方法論だけでなく、  
普段からの議論を活発化させるべきだと  
福嶋氏は語りました。予算や条例案に「や  
むを得ず賛成」ではなく、修正案がある  
のを当たり前のこととし、討議の必要性  
を訴えられました。

### 講演概要②

#### 「議会改革・議会活性化のための議員活動」

東京大学大学院法学政治学研究所教授  
金井 利之 氏

二元代表制論から首長と議会の関係性  
について解説し、政策立案に受け身では  
なく議論の機会を設けるべきだと金井氏  
は語りました。

また、町村議員選挙における競争率の  
低下と資質の関係性や、多様性を欠く議  
員構成など多くの課題を指摘されました。

# がんばってます

## そろばんって楽しい!

出来なかった事が出来た時の嬉しさを



私が珠算指導を始めたのは、先に教室をしていた両親からの勧めがあり、見よう見まねで始めました。次第に生徒達の可愛さと成長を目のあたりにしてやりがいを感じる様になりました。両親や多くの先輩方の助言もあり、これまでなんとかやってこれました。

計算、算数でも具体的で分かりやすいのが「そろばん」です。現在小学校三年生、四年生の教科書の単元で「そろばんの計算」があります。近年は、学校の先生もそろばんを習わなかった方々が増えています。そんな中、ボランティアで授業のお手伝いをしてみようと思っ

たのが一年半前で、東京の大先輩の先生のボランティア授業を見学に行くなど、夫の協力もあり、今回九月の押切小学校四年生の授業で、他校も合わせて四回目になりました。

少しでも興味を持って算数に繋がってくればと、思っています。

吉田珠算学園

芝田 美恵



【表紙の写真】



加藤碧鳳くん  
押切下町町内会  
(写真) 小野寺 正樹

## 編集室

初詣に行けば、決まっておみくじを引く。大体は吉か末吉しか当たらず大吉には中々恵まれない。

心の中で大吉などそんなに入っていないと自分に言い聞かせていると、隣の人が大吉を引いて喜んでいてではないか。

賽銭は気持ちいいというが、少ないよりは多い方がご利益があるような気がする。今年はちょっとだけ奮発してみたが…。

近年、地震や災害などあちらこちらで起きているので私には大吉が出なくてもいいので、何事も無い平穏な年を願わずにはいられない。

小野寺 正樹



### 発行責任者

議会議長 町野 昌弘

編集 広報常任委員会

委員長 砂田 茂

副委員長 鈴木 重行

委員 鈴木 淳士

委員 小野寺正樹

委員 土田 市子

委員 佐竹 優子